

特集1 岐阜市水道事業基本計画の改定について

本市の水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえ、将来を見据えた事業運営の方向性を明確にするため、令和7年4月に「岐阜市水道事業基本計画」を改定しました。



水道事業基本計画について詳しくはこちら

計画の位置づけ

「岐阜市水道事業基本計画」は、国の「新水道ビジョン」に掲げる「安全」「強靱」「持続」の3つの観点等を基に、「Gifu MIRAI Book（岐阜市未来のまちづくり構想）」を上位計画とし、「岐阜市都市計画マスタープラン」や「岐阜市公共施設等総合管理計画」などの関連計画と整合を図りながら、「岐阜市上下水道事業経営戦略」と理念を共有し、概ね10年間を計画期間として本市の水道事業の将来像と基本方針、実現方策を示すものです。



改定の背景

前計画の計画期間が令和6年度末に終了を迎え、水道法改正による基盤強化、「Gifu MIRAI Book」の改定、SDGs達成への対応、能登半島地震を踏まえた上下水道施設の一体的な耐震化など、水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、「岐阜市上下水道事業経営戦略」の改定と併せて改定するものです。

	H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
国 新水道ビジョン	新水道ビジョン																					
岐阜市上位計画	ぎふ躍動プラン・21					ぎふ未来地図		Gifu MIRAI Book														
上下水道事業運営 の基本計画	岐阜市上下水道事業 中期経営プラン					岐阜市上下水道 事業経営戦略		岐阜市上下水道事業経営戦略(改定)														
岐阜市水道事業 基本計画	前計画					本計画																

目指すべき方向

本計画の基本理念は、「岐阜市上下水道事業経営戦略」の経営理念「**「水」を通じて、当たり前の暮らしを未来まで支えます**」を共有し、将来にわたり市民の安全で安心かつ快適な生活を支えていくことを目指します。目指すべき将来像、基本方針は前計画を継承し、基本理念の実現を図るとともに、「Gifu MIRAI Book」に示された「まちづくりの方向性」のうち、「住み続けられる安全・安心なまちづくり」「いのちと暮らしを守る防災」などの実現を目指します。

※(新)は改定により新たに追加した方策・取組

目指すべき将来像Ⅰ 「安全」いつでもどこでもおいしく水を飲めること

基本方針1 水質管理の充実と強化

実現方策① 適切な維持管理の実施

配水池や水道管の内部を清浄な状態に保つとともに、老朽化による水道施設の事故を防ぐため、適切な維持管理を実施します。

- 主な取組
- 配水池の点検・清掃、水道管の洗管
 - DXによる効率的な維持管理(新)



実現方策② 精度の高い水質検査の実施

法令に基づいた定期的な水質検査を実施するとともに、水道水の安全性を一層高めるため、精度の高い水質検査等を行います。

- 主な取組
- 分析技術の向上、精度の高い検査体制の維持
 - 岐阜市水道水質検査計画の策定と検査結果公表
 - 水質検査の技術交流及び相互協力(新)



実現方策③ 水源から給水栓までの水質管理の徹底

安全・安心な水道水を継続的に供給するため、水源の水質汚染事故を未然に防ぐとともに、万一、事故が発生した場合には、迅速に対応できるよう、水質管理体制の強化を図ります。

- 主な取組
- 「岐阜市水安全計画」の的確な運用

基本方針2 水源の保全

実現方策④ 水源の保全

本市の水道水源は、良質で豊富な長良川の伏流水や地下水です。そのため、水源の保全及び地下水の適正利用に努めるとともに、水源事故などの不測の事態が発生した場合に備え、関係機関との連携体制を強化します。

- 主な取組
- 水源の保全及び地下水の適正利用
 - 国、県及び近隣水道事業者との連携体制の強化

目指すべき将来像Ⅱ

「強靱」災害による被害を最小限にとどめ、迅速に復旧できること

基本方針1 水道施設の耐震化

実現方策① 基幹施設の耐震化(新)

「岐阜市上下水道耐震化計画」に基づき、急所となる基幹施設の耐震化を重点的に、上下水道施設の一体的な耐震化を進めます。

- 主な取組
- 水源の耐震化事業(新)
(鏡岩水源、柳津水源)
 - 配水池の耐震化事業(佐波配水池)(新)



実現方策② 重要施設に接続する管路の耐震化(新)

災害に強く持続可能な上下水道システムの構築を目指し、「岐阜市上下水道耐震化計画」に基づいて、災害対策拠点や災害拠点病院、広域避難所などの重要施設に接続する管路の耐震化を重点的に進めます。

基本方針2 水道施設の更新

実現方策③ 老朽化した水道施設の計画的な更新

今後のさらなる老朽化施設の増加に対応するため、将来の水需要等を踏まえた水道施設の計画的な更新を実施します。

- 主な取組
- 施設の共同化やダウンサイジング等による水道施設の計画的な更新(新)

目指すべき将来像Ⅲ

「持続」健全かつ安定的な事業運営がなされていること

基本方針1 水源の安定化

実現方策① 長良川の伏流水を活用した水源の統廃合

今後、使用量の減少が想定される中、施設更新の機会を捉え、小規模な水源は廃止し、雄総水源など基幹水源地への統合を進めます。

- 主な取組
- 方県加圧施設の整備(新)
(方県水源地の廃止)



実現方策② 取水施設の安定的な取水量の確保(新)

本市の水道水源は、平常時において取水量が十分に確保されていますが、今後も引き続き安定的な取水量を確保するため、水源の濁度上昇など水質事故等への対策を講じます。

- 主な取組
- 雄総水源取水施設の整備(新)

基本方針2 経営基盤の強化

実現方策③ アセットマネジメントによる適正な資産管理

現在保有している施設の統廃合などを踏まえた中長期的な更新需要を的確に把握し、限られた財源の中で計画的な更新を行います。

実現方策④ 普及率の向上

今後の料金収入の減少を踏まえ、自家用井戸から水道への切り替えを推進し、水道の普及率の向上を図ります。

- 主な取組
- 広報活動及び個別訪問等による普及活動

実現方策⑤ 官民連携・広域連携の推進

料金収入の減少や経験豊富な職員の退職などが想定される中、将来にわたり安全な水を安定的に供給するため、官民連携や近隣の水道事業者等との広域連携を推進し、水道の基盤強化を図ります。

- 主な取組
- 官民連携の推進
 - 「岐阜県水道広域化推進プラン」の実現に向けた協議・検討の実施(新)

基本方針3 危機管理体制の強化

実現方策④ 各種マニュアルの実践

今後想定される南海トラフ地震などの不測の事態への対応能力を向上させるため、危機管理体制の強化を図ります。また、必要に応じてマニュアルの見直しを行います。

- 主な取組
- 官民連携による災害訓練・技術研修会及び協定市町との合同訓練の継続的な実施(新)

実現方策⑤ 水源及び給水ブロック間の連絡管整備

今後想定される南海トラフ地震などの災害時や水道施設の事故時において、継続的に水道水を供給するため、水源及び給水ブロック間をつなぐ連絡管を整備し、バックアップ機能を強化します。

実現方策⑥ 管路網の小ブロック化の実施

災害や管路事故等による断水の影響範囲を最小限に抑えるため、今後も引き続き、小ブロック化に取り組みます。

実現方策⑦ 応急給水施策の強化(新)

災害時における水道施設の機能確保を図るとともに、大規模断水時には給水車が不足することで、応急給水の体制構築が困難と想定されることから、医療機関や避難所など多くの水を必要とする施設への応急給水を確保するため、応急給水能力の強化に取り組みます。

- 主な取組
- 鏡岩水源等の自家発電設備の更新(新)
 - 応急給水設備の充実(新)
 - 水道施設台帳のDX化と適切な管理・更新(新)
 - 官民連携等による応急給水体制の強化(新)



実現方策⑧ 有収率の向上

AI技術等を活用した効率的な漏水調査と早期修繕に一層取り組むとともに、他都市における効果的な漏水調査方策等を調査するなど、さらなる有収率の向上を図ります。

- 主な取組
- AI技術を活用した効率的な漏水調査の実施(新)



基本方針3 組織体制の強化

実現方策⑦ 組織体制の強化

これまでの経験で培った知識と専門技術等を次世代へ継承するため、官民連携による技術研修等を実施し、職員教育の充実を図るなど、組織体制を強化します。

- 主な取組
- 官民連携による技術研修等の実施(新)



基本方針4 資源・エネルギーの有効利用

実現方策⑧ 資源・エネルギーの有効利用

「環境アクションプランぎふ」に基づき、温室効果ガスの削減に向けた取り組みを実施します。

- 主な取組
- 省エネルギー機器の採用、環境に配慮した物品購入の推進
 - 廃棄物の排出抑制、建設副産物のリサイクル促進
 - 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用促進(新)

基本方針5 お客様サービスの向上

実現方策⑨ お客様サービスの向上

お客様の水道事業に対する理解を深めていただくとともに、申請手続きのオンライン化など、お客様サービスのさらなる向上を図ります。

- 主な取組
- 「水のかえ」など広報・広聴活動の充実
 - 上下水道モニター事業の実施
 - 給排水工事申請手続きのオンライン化(新)

